

会計個別講座レベル1 カリキュラム

午前中

午前中では、財務諸表の関連性の復習と、損益計算書、貸借対照表の資産について学習していきます。

<p>●財務諸表の関連性 CFA レベル1 Financial reporting and analysis CFA レベル1 Corporate Finance</p>	<p>財務諸表のおさらい 目的：財務諸表の関連性の知識習得を目指す。 概要：財務諸表の関連性の基礎知識を学習する。</p>
<p>●損益計算書の仕組みを理解する CFA レベル1 Financial reporting and analysis CFA レベル1 Corporate Finance</p>	<p>収益認識の基礎演習 目的：収益認識についての基礎的な知識の習得を目指す。 到達目標：簡単な収益認識の計算ができる。 実施概要：紙ベースでのワークシート演習。</p> <p>一株当たり利益（EPS）の基礎演習 目的：一株当たり利益（EPS）についての基礎的な知識の習得を目指す。 到達目標：複数の種類の一株当たり利益（EPS）の計算ができる。 実施概要：紙ベースでのワークシート演習。</p> <p>損益計算書に関する質疑応答 目的：損益計算書の理解度の確認。 ポイント：問題を通して、損益計算書に関する理解度を確認。</p>
<p>●貸借対照表（資産）の仕組みを理解する CFA レベル1 Financial reporting and analysis CFA レベル1 Corporate Finance</p>	<p>在庫評価の基礎演習 目的：在庫評価についての基礎的な知識の習得を目指す。 到達目標：簡単な在庫評価の計算ができる。 実施概要：紙ベースでのワークシート演習。</p> <p>減価償却費（有形・無形）の基礎演習（減損処理を含む） 目的：減価償却費の基礎知識の取得。 到達目標：簡単な固定資産の減価償却費の計算ができる。 実施概要：紙ベースでのワークシート演習。</p> <p>貸借対照表（資産）に関する質疑応答 目的：貸借対照表（資産）の理解度の確認。 ポイント：問題を通して、貸借対照表（資産）に関する理解度を確認。</p>

午後

午後は、比較的苦手としている、債券、リース、繰延税金等を学習していきます。最後に、財務諸表の理解を深めるため、レシオ分析等をおこないます。

<p>•貸借対照表（負債）の仕組みを理解する</p> <p>CFA レベル1 Financial reporting and analysis CFA レベル1 Fixed Income Securities</p>	<p>債券の基礎演習 目的：債券についての基礎的な知識の習得を目指す。 到達目標：簡単な債券の計算や償却方法の計算ができる。 実施概要：紙ベースでのワークシート演習。</p> <p>リースの基礎演習（繰延税金を含む） 目的：リースの理解に対する知識の取得。 到達目標：簡単なリースの計算ができる。 実施概要：紙ベースでのワークシート演習。</p> <p>税金の基礎演習（繰延税金を含む） 目的：税金の理解に対する知識の取得。 到達目標：簡単な繰延資産、負債の計算ができる。 実施概要：紙ベースでのワークシート演習。</p> <p>貸借対照表（負債）に関する質疑応答 目的：簡単な仕訳に対する理解度の確認。 ポイント：問題を通して、貸借対照表（負債）に関する理解度を確認。</p>
<p>•財務諸表の応用例（レシオ分析）</p> <p>CFA レベル1 Financial reporting and analysis CFA レベル1 Corporate Finance CFA レベル1 Fixed Income Securities</p>	<p>レシオ分析の基礎知識 目的：試験問題を使って、レシオ分析についての理解度を深める。 到達目標：簡単なレシオ分析ができる。 実施概要：紙ベースでのワークシート演習。</p> <p>全体に関する質疑応答 目的：財務分析に対する理解度の確認。 ポイント：財務分析の理解の促進。</p>